

sanwa®

DCL1000 **DIGITAL CLAMP METER**

取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

使用说明书



目 次

【1】	安全に関する項目～はじめに必ずお読みください。～	
1-1	警告マークなどの記号説明	1
1-2	安全使用のための警告文	1
1-3	過負荷保護	2
【2】	用途と特長	
2-1	用 途	3
2-2	特 長	3
【3】	各部の名称と機能	
3-1	本体とテストリードの名称と機能	4
3-2	表示器	6
【4】	機能と用語説明	
4-1	オートパワーオフ	7
4-2	交流検波方式	7
【5】	測定方法	
5-1	始業点検	7
5-2	電流 (ACA) 測定	9
5-3	電圧 (V) 測定	10
5-4	抵抗測定、導通チェック、ダイオードテスト (Ω \rightarrow \rightarrow)	11
【6】	保守管理について	
6-1	保守点検	13
6-2	校正・点検	13
6-3	保管について	13
6-4	電池の交換	13
【7】	アフターサービス	
7-1	保証期間について	14
7-2	修理について	14
7-3	お問い合わせ先	15
【8】	仕 様	
8-1	一般仕様	16
8-2	測定範囲および精度	17
保 証 書		最終ページにあります

【1】安全に関する項目～はじめに必ずお読みください。～

このたびはクランプメータDCL1000型をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。そして常にご覧いただけるように製品と一緒にして大切に保管してください。

本書で指定していない方法で使用すると、本製品の保護機能が損なわれることがあります。

本文中の“**△警告**”の記載事項は、やけどや感電などの事故防止のため、必ずお守りください。

1-1 警告マークなどの記号説明

本器および『取扱説明書』に使用されている記号と意味について

△：安全に使用するための特に重要な事項を示します。

- ・警告文はやけどや感電などの人身事故を防止するためのものです。
- ・注意文は本器を壊すおそれのあるお取扱や測定に対しての注意文です。

⚡：高電圧注意

⊥：グランド

～：交流(AC)

🔊：ブザー

—：直流 (DC)

Ω：抵抗

▶：ダイオード

□：二重絶縁または強化絶縁

1-2 安全使用のための警告文

△ 警 告

以下の項目は、やけどや感電などの人身事故を防止するためのものです。本器をご使用するには必ずお守りください。

1. 本器は低電圧回路用のクランプメータです。対地電圧600 Vrms以下の電路で使用すること。
2. AC 33 Vrms (46.7 Vpeak) またはDC 70 V以上の電圧は人体に危険なため触れないこと。
3. 最大定格入力値 (1-3参照) を超える信号は入力しないこと。
4. 誘起電圧、サージ電圧の発生する (モータ等) ラインの電圧測定は最大過負荷入力値を超える恐れがあるため使用しないこと。
5. 強力な電磁波を発生するもの、帯電しているものの近くでは使用しないこと。

6. 本体またはテストリードが傷んでいたり、壊れている場合は使用しないこと。
7. ケースまたは電池ふたを外した状態では使用しないこと。
8. 測定中は本体のバリヤより先、テストリードのつばよりテストピン側を持たないこと。
9. 電圧測定する場合は最初、マイナス（－）側または接地側にテストリードの黒を接続し、離す場合は最初に（＋）側または非接地側を離すこと。
10. 測定中は他のファンクションに切り換ええないこと。
11. 測定前には、ファンクションおよびレンジ確認を確実にすること。
12. 本器または手が水等でぬれた状態での使用はしないこと。
13. テストリードは指定タイプのものを使用すること。
14. 電池交換を除く修理・改造は行わないこと。
15. 年1回以上の点検は必ず行うこと。
16. 屋内で使用すること。

1-3 過負荷保護

各ファンクション信号入力部の最大定格入力値および過負荷保護を定めています。

ファンクション	信号入力部	最大定格入力値	最大過負荷保護
A	クランプ式 電流センサ (CT)	AC 1000 Arms	AC 1000 Arms
\tilde{V} \overline{V}	+ と 一端子間	DC・AC 600 V	DC・AC 600 V
Ω \rightarrow \rightarrow		\triangle 電圧・電流 入力禁止	

【2】用途と特長

2-1 用途

本器は国際規格IEC61010-1 CAT. III 600 Vに準拠して設計された、交流用のクランプメータです。電気機器や電源設備の交流電流の測定に適します。

2-2 特長

- ・従来クランプメータより軽量にしたため（当社同等品比30 %減）、持ち運びに便利。
- ・大きな“**HOLD**”ボタンで、確実に表示値をホールド
- ・IECに準拠した安全設計
- ・DMM機能付き
- ・相対値（RELATIVE）測定機能付き

測定カテゴリ（過電圧カテゴリ）

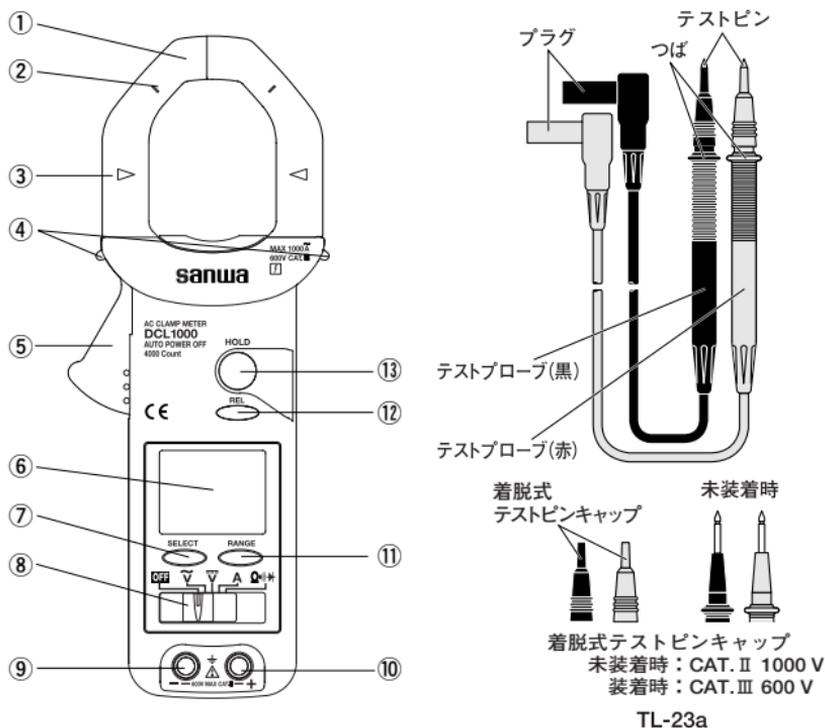
過電圧測定分類（CAT.Ⅱ）：コンセントに接続する電源コード付き機器の一次側電路。

過電圧測定分類（CAT.Ⅲ）：直接分電盤から電気を取り込む機器の一次側および分岐部からコンセントまでの電路。

過電圧測定分類（CAT.Ⅳ）：引き込み線から分電盤までの電路。

[3] 各部の名称と機能

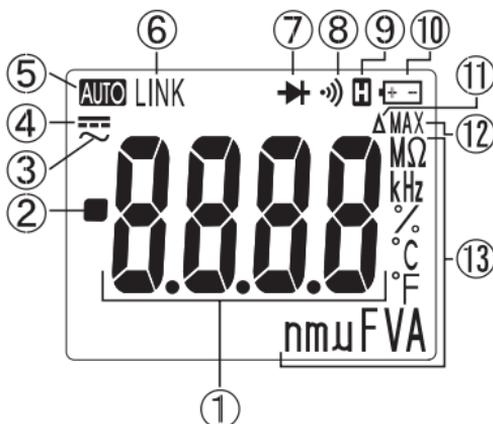
3-1 本体とテストリードの名称と機能



①	クランプ式電流センサ (CT)	測定する導体をクランプするセンサ (以下、単にクランプセンサと表記する)
②	確度保証範囲マーク	確度保証をする測定導体をクランプ する範囲 (5-2項参照)
③	センター位置マーク	
④	バリヤ	電流測定時、指が被測定物に触れない ための凸部
⑤	開閉レバー	クランプセンサを開閉するレバー
⑥	表示器	測定値などを表示する液晶表示器

⑦	SELECT ボタン	SELECTボタンを押すと、ファンクションは以下のように切り換わります。 Ω ㉵ → 位置：Ω → ㉵ → → ㉵								
⑧	電源スイッチ兼 ファンクションスイッチ	このスイッチをスライドさせて電源のON/OFFと各ファンクションを切り換えます。								
⑨	－測定端子	黒のテストリードを差し込みます。								
⑩	＋測定端子	赤のテストリードを差し込みます。								
⑪	RANGE ボタン (レンジホールド)	このボタンを押すとマニュアルモードとなり、レンジが固定されます(表示器から AUTO が消える)。マニュアルモードになると、このボタンを押すたびにレンジが移動しますので、表示器の単位と小数点の位置を確認しながら適正レンジを選択します。オートレンジに復帰させる場合は、このボタンを1秒以上押します(表示器に AUTO が点灯する。)								
⑫	REL ボタン (リラティブ測定：相対値測定)	このボタンを押すと、表示器に Δ が点灯し、押した時点の入力値を0と表示します。(mVレンジを除く) 解除にするときはこのボタンを再度押ししてください(表示器の Δ が消灯します)。 例：DC 30.00 V入力時にこのボタンを押した後の表示 <table border="1" data-bbox="519 924 912 1067"> <thead> <tr> <th>実際の入力値</th> <th>表示器の数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DC 30.00 V</td> <td>DC 0.00 V</td> </tr> <tr> <td>DC 35.00 V</td> <td>DC 5.00 V</td> </tr> <tr> <td>DC 25.00 V</td> <td>DC -5.00 V</td> </tr> </tbody> </table>	実際の入力値	表示器の数値	DC 30.00 V	DC 0.00 V	DC 35.00 V	DC 5.00 V	DC 25.00 V	DC -5.00 V
実際の入力値	表示器の数値									
DC 30.00 V	DC 0.00 V									
DC 35.00 V	DC 5.00 V									
DC 25.00 V	DC -5.00 V									
⑬	HOLD ボタン (データホールド)	このボタンを押すと、その時点の表示値を保持(ホールド)します(表示器には \square が点灯する)。測定入力変動しても表示は変化しません。再度このボタンを押すと、ホールド状態は解除され通常の測定状態に戻ります(表示器の \square が消灯する)。								

3-2 表示器



①	8888	数値部
②	.	数値データのマイナス表示
③	~	交流測定動作表示
④	≡	直流測定動作表示
⑤	AUTO	オートレンジモード時に点灯
⑥	LINK	未使用
⑦	➔	ダイオードテスト機能時に点灯
⑧)))	導通チェック機能時に点灯
⑨	H	データホールドモード時に点灯
⑩	⊖ ⊕	電池消費警告表示：内蔵電池が消耗し電池電圧が約2.4 V以下になったとき、表示器にこのマークが表示されます。点滅または点灯したときには、新しい電池と交換してください。
⑪	Δ	リラティブ測定モード (REL) 時に点灯
⑫	MAX	未使用
⑬	n μ F V A M Ω kHz °C °F	測定単位 n、μ、°F、%、°Cと°Fは未使用

【4】機能と用語説明

4-1 オートパワーオフ

電源ON時からスイッチやボタン操作が行われないうち、約30分後に自動的に電源が切れ表示が全て消えます。

復帰する場合はいずれかのボタンを押すか、被測定物からテストリードまたはクランプセンサ (CT) を外してファンクションスイッチをOFF後に再設定します。

- ・オートパワーオフ時にも微小な電源電流が流れていますので測定が終わったら、必ずファンクションスイッチをOFFの位置に戻してください。
- ・オートパワーオフ機能の解除はできません。

4-2 交流検波方式

本器は平均値方式で、正の半周期間の電圧または電流を平均した値を表示します。入力波形が正弦波で歪のない測定の時には誤差は生じませんが、入力波形が歪正弦波や非正弦波の場合は波形に応じた大きさの誤差を生じます。

【5】測定方法

⚠ 警 告

1. 各機能の最大定格入力値を超えた入力信号を加えないこと。
2. 測定中はファンクションスイッチを切り換えないこと。
3. 測定中は本体のバリヤより先またはテストリードのつばよりテストピン側を持たないこと。
4. 測定後は被測定物からクランプセンサ (CT) およびテストリードを離し、ファンクションスイッチを **OFF** 位置に戻すこと。

5-1 始業点検

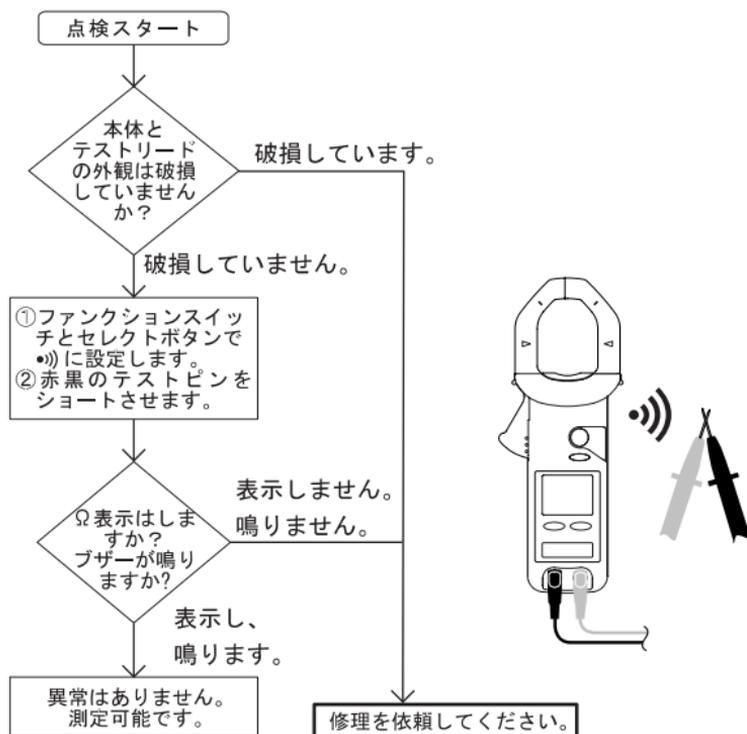
⚠ 注 意

1. 電源スイッチを ON したとき、電池消耗警告表示マーク () が点滅または点灯していないことを確認すること。点滅または点灯しているときは、新しい電池と交換すること。(6-4項参照)
2. 本体およびテストリードが傷んでいたり、壊れている場合は使用しないこと。

3. テストリードが切れていないことを確認すること。

安全のため、必ず始業点検を行ってください。

※表示器に何も表示が出ない場合は、電池の完全な消耗も考えられます。

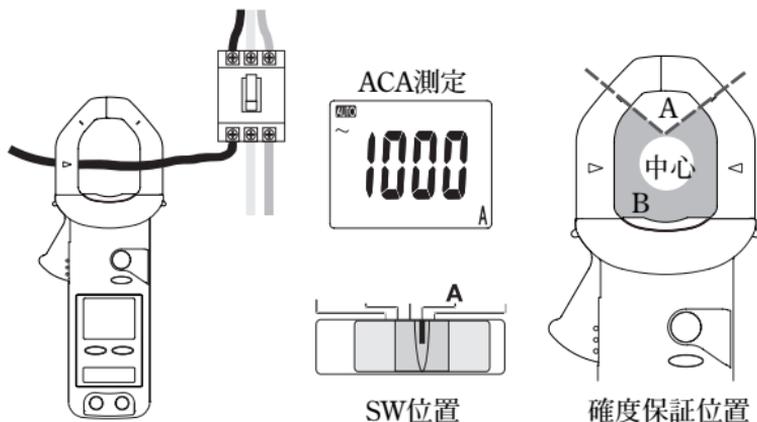


5-2 電流 (ACA) 測定

⚠ 警告

感電防止のため、テストリードは測定端子から必ず外すこと。

ファンクション	最大定格入力値	レンジ
ACA	AC 1000 A	400.0 A, 1000 A



備考：

- ・本器は平均値応答です。
周波数範囲：50/60 Hz（正弦波交流）
- ・100 A以上の大電流測定時に、クランプセンサ（CT）部で振動音を発しても故障ではありません。
- ・表示値がレンジの15 %以下の確度は8-2項で示す確度に8dgtを加算します。
- ・隣接する導体に流れる電流の影響で0.06 A/A以下の誘導誤差を生じることがあります。
- ・インバータ電源回路の測定では誤動作することがあります。

確度保証ができる導体位置の範囲目安

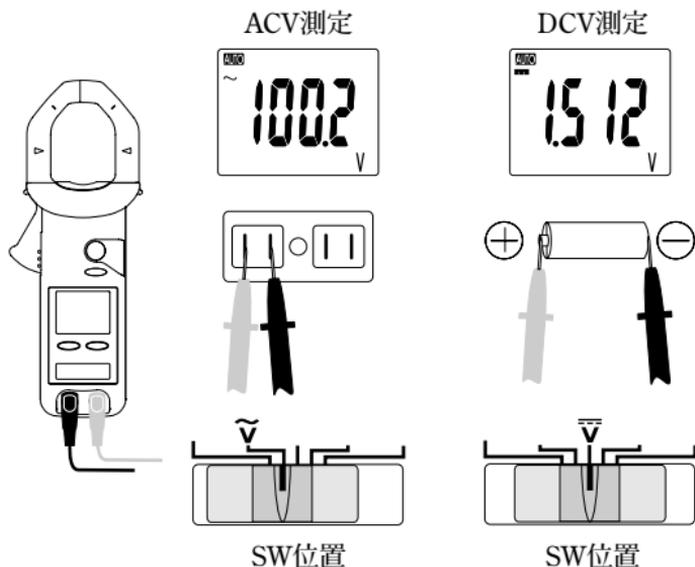
クランプセンサ（CT）の中心で測定した時は規定確度（8-2項目参照）になります。その他の測定導体位置の確度は以下のようになります。

Aゾーン：規定確度に4%を追加します。

Bゾーン：規定確度に1%を追加します。

5-3 電圧 (V) 測定

ファンクション	最大定格入力値	レンジ
DCV	DC 600 V	400.0 mV, 4.000 V, 40.00 V, 400.0 V, 600 V
ACV	AC 600 V	400.0 mV, 4.000 V, 40.00 V, 400.0 V, 600 V



備考：

- ・ 平均値応答で、周波数範囲は50/60 Hzです。
- ・ AC 400.0 mVレンジは、**RANGE** ボタンで設定します。
- ・ 400.0 mVレンジは入力抵抗が約1000 MΩで、他は約10 MΩです。
- ・ 400.0 mVレンジでは、テストリード開放時に表示が変動する場合がありますが故障ではありません。
- ・ 測定端子をショートしてもゼロ表示にならないことがあります。
- ・ DCV測定時、測定端子に十、一逆極性の電圧が加わると、“-” 付きの電圧値が表示されます。
- ・ インバータ電源回路の測定では誤動作することがあります。
- ・ オートレンジおよびマニュアルレンジで600 Vレンジの時は、オーバー表示 (OL) をしないので過電圧にならないよう注意してください。

5-4 抵抗測定、導通チェック、ダイオードテスト (Ω) (⌘) (⇨)

⚠ 警告

入力端子には電圧を絶対に加えないこと。

5-4-1 抵抗 (Ω) 測定

ファンクション	最大定格入力値	レンジ
Ω	40.00 MΩ	400.0 Ω, 4.000 kΩ, 40.00 kΩ, 400.0 kΩ, 4.000 MΩ, 40.00 MΩ

開放電圧：約0.4 VDC

5-4-2 導通チェック (⌘)

測定範囲：0～400.0 Ω

ブザー発音範囲：0 Ω～65 Ω (±55 Ω)

開放電圧：約0.4 VDV

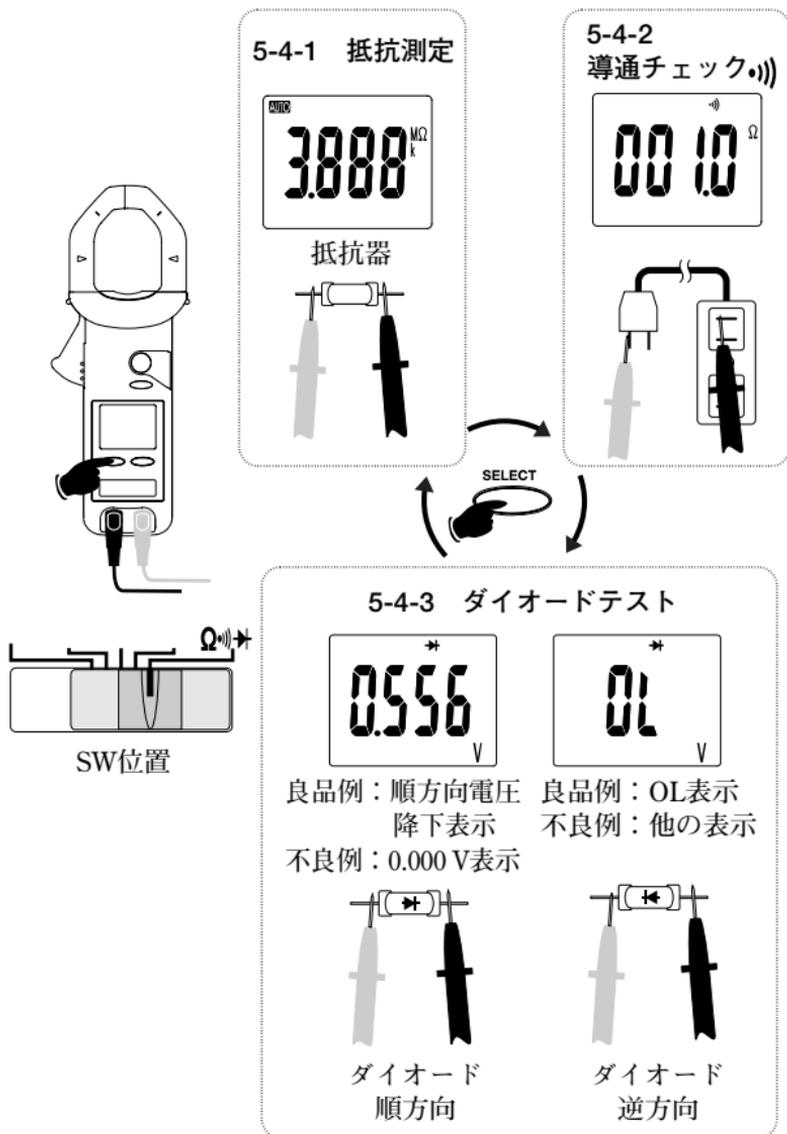
5-4-3 ダイオードテスト (⇨)

開放電圧：約1.6 VDC

測定電流：0.4 mA(代表値)

備考：

- ・抵抗測定に際しノイズの影響を受ける場合は、被測定物を一電位でシールドしてください。
- ・テストピンに指を触れて測定すると、人体の抵抗の影響を受け誤差を生じます。
- ・電圧が加わっている部分の測定はできません。



SELECTボタンを押す毎にファンクションが図の→のように切り替わります。

【6】保守管理について

⚠ 警 告

1. この項目は安全上重要です。
本説明書をよく理解した上で管理を行ってください。
2. 安全と確度維持のために1年に1回以上は校正、点検を行ってください。

6-1 保守点検

- 1) 外観：落下などにより、外観が壊れていないか？
- 2) テストリード：テストリードが傷んだり、どこかの箇所から芯線が露出していないか、断線していないか？
以上の項目に該当する場合はそのまま使用せず、修理を依頼してください。項目7-2を参照。

6-2 校正・点検

詳細については三和電気計器(株)までお問い合わせください。
項目7-3を参照。

6-3 保管について

⚠ 注 意

1. 本体は揮発性溶剤に弱いため、シンナーやアルコールなどで拭かないこと。
2. 本体は熱に弱いため、高熱を発するものの近くに置かないこと。
3. 振動の多い場所や落下のおそれのある場所に保管しないこと。
4. 直射日光や高熱、低温、多湿、結露のある場所での保管は避けること。
5. 長期間使用しない場合は内蔵電池を必ず抜いて置くこと。

6-4 電池の交換

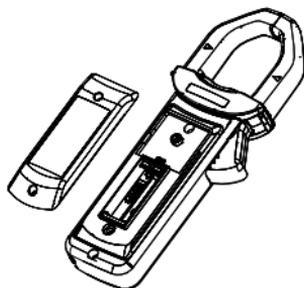
出荷時の電池について

工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは製品の機能や性能をチェックするための電池のことです。

⚠ 警 告

測定端子に入力が加わった状態でリヤケースを外すと、感電の恐れがあります。必ず入力が加わっていないことと、ファンクションスイッチが **OFF** になっていることを確認してから作業を行うこと。



- ①電池ふた止めネジ（2本）をドライバで外します。
- ②内部にある電池を取り出し、新しい電池と交換します。
電池：R03（単4型、AAA）1.5V×2個
- ③電池ふたを元どおりねじ止めます。

【7】アフターサービスについて

7-1 保証期間について

本製品の保証期間は、お買い上げの日より3年間です。ただし、日本国内で購入し日本国内でご使用いただく場合に限りです。また、製品本体の確度は1年保証、製品付属の電池、テストリード等は保証対象外とさせていただきます。

7-2 修理について

- 1) 修理依頼の前に次の項目をご確認ください。
内蔵電池の容量はありますか？装着の極性は正しいですか？
テストリードは断線していませんか？
- 2) 保証期間中の修理：保証書の記載内容によって修理させていただきます。
- 3) 保証期間経過後の修理
修理および輸送費用が製品価格より高くなる場合もありますので、事前にお問い合わせください。補修性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。この保有期間を修理可

能期間とさせていただきます。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

4) 修理品の送り先

製品（本体およびテストリード等の付属品を含む）の安全輸送のため、製品の5倍以上の容積の箱に入れ、十分なクッションを詰め、箱の表面に「修理品在中」と明記して送りください。輸送にかかる往復の送料は、お客様のご負担とさせていただきます。

[送り先] 三和電気計器株式会社・羽村工場サービス課
〒205-8604 東京都羽村市神明台4-7-15
TEL (042) 554-0113/FAX (042) 555-9046

7-3 お問い合わせ

三和電気計器株式会社

本 社 : TEL (03) 3253-4871 / FAX (03) 3251-7022

大阪営業所 : TEL (06) 6631-7361 / FAX (06) 6644-3249

お客様計測相談室 : ☎ 0120-51-3930

受付時間9:30~12:00 13:00~17:00 (土日祭日を除く)

ホームページ : <http://www.sanwa-meter.co.jp>

【8】仕 様

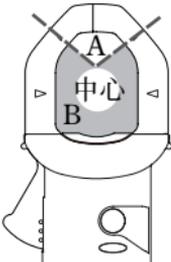
8-1 一般仕様

動作方式	Δ - Σ 方式
交流検波方式	平均値方式
液晶表示器	4000カウント
サンプルレート	約3回/秒
レンジ切り換え	オート及びマニュアル
オーバー表示	数値部に"OL"を表示、 但し電圧測定時は"OL"表示せず
極性表示自動切換	マイナス入力時に"-"のみ表示
電池消耗警告	約2.4 V以下で  が点灯または点滅
使用環境条件	高度2000 m以下・環境汚染度Ⅱ
動作温度/湿度	5℃～40℃湿度は下記のとおりで結露のないこと 5℃～31℃で80 %RH(最大)、31℃以上40℃では 80 %RHから50 %RHへ直線的に減少
保存温度/湿度	-20℃～60℃, 70 %RH以下 (電池を外した状態)
電源	R03 (単4型) 1.5 V×2個
消費電流	約2.2 mA/DCVファンクション (代表値)
電池寿命	約120時間 (DCVファンクション連続測定)
安全規格	IEC61010-1、IEC61010-2-032、IEC61010-2-033 CAT.Ⅲ 600 V IEC61010-031
EMC	IEC61326 電磁界 3 V/m以下：確度に45dgtを追加する。 電磁界3 V/m超：確度保証外
クランプセンサ (CT) クランプ可能サイズ	最大42 mm
寸法	238(L)×95(W)×45(H) mm
質量	約290 g (電池含む)
オートパワーオフ	電源投入後、約30分
付属品	テストリード (TL-23a)、キャリングケース (C-DCL1000)、取扱説明書

8-2 測定範囲および精度

温度：23±5℃ 湿度：75 %R.H.以下、電源電圧2.4 V以上
rdg (reading)：読み取り値 dgt (digit)：最終桁のカウンタ数

交流電流 ACA

レンジ	精度	備考
400.0 A	$\pm(1.7\% \text{rdg} + 5 \text{dgt})$	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平均値応答 ・ 周波数範囲：50 Hz/60 Hz（正弦波交流） ・ 精度は、クランプセンサの中心で測定した精度です。 ・ 導体位置のよるの精度保証範囲 中心以外の測定導体位置の精度は以下のようになります。 Aゾーン：左欄の精度に4%を追加します。 Bゾーン：左欄の精度に1%を追加します。  <ul style="list-style-type: none"> ・ 表示値がレンジの15%以下の精度は、左記精度に8dgtを加算します。 ・ 隣接する導体に流れる電流の影響で0.06 A/A以下の誘導誤差を生じることがあります。 ・ インバータ電源回路の測定では誤動作することがあります。
1000 A	$\pm(1.7\% \text{rdg} + 5 \text{dgt})$	

直流電圧 DCV

レンジ	精度	入力抵抗	備考
400.0 mV	$\pm(1.2\% \text{rdg} + 3 \text{dgt})$	約1000 MΩ	
4.000 V	$\pm(1.9\% \text{rdg} + 3 \text{dgt})$	約10 MΩ	
40.00 V			
400.0 V			
600 V	$\pm(2.2\% \text{rdg} + 4 \text{dgt})$		

交流電圧 ACV

レンジ	周波数範囲	確 度	入力抵抗	備 考
400.0 mV	50 Hz～500 Hz	±(4.2 %rdg+5dgt)	約10 MΩ	400.0 mVレンジはレンジボタンで設定します。
4.000 V	50 Hz/60 Hz	±(2.2 %rdg+5dgt)		
	60 Hz～500 Hz	±(2.7 %rdg+5dgt)		
40.00 V	50 Hz/60 Hz	±(2.2 %rdg+5dgt)		
	60 Hz～500 Hz	±(2.7 %rdg+5dgt)		
400.0 V	50 Hz/60 Hz	±(2.2 %rdg+5dgt)		
	60 Hz～500 Hz	±(2.7 %rdg+5dgt)		
600 V	50 Hz～500 Hz	±(3.2 %rdg+5dgt)		

インバータ電源回路の測定では誤動作することがあります。

抵抗測定 Ω

レンジ	確 度	備 考
400.0 Ω	±(1.7 %rdg+6dgt)	開放電圧：約DC 0.4 V
4.000 kΩ	±(1.2 %rdg+4dgt)	
40.00 kΩ		
400.0 kΩ		
4.000 MΩ	±(1.7 %rdg+4dgt)	
40.00 MΩ	±(2.7 %rdg+4dgt)	

導通チェック (•))

ブザー発音範囲：0 Ω～65 Ω(±55 Ω)

開放電圧：約DC 0.4 V

レンジ：400.0 Ω

ダイオードテスト (→)

開放電圧：約DC 1.6 V

試験電流：0.4 mA (代表値)

sanwa.

保証書

ご氏名

様

型名 **DCL1000**

製造No.

ご住所

〒□□□-□□□□

この製品は厳密なる品質管理を経てお届けするものです。

本保証書は所定項目をご記入の上保管していただき、アフターサービスの際ご提出ください。

※本保証書は再発行はいたしませんので大切に保管してください。

TEL

保証期間

三和電気計器株式会社

ご購入日 年 月より3年間

本社=東京都千代田区外神田2-4-4・電波ビル
郵便番号=101-0021・電話=東京(03)3253-4871(代)

保証規定

保証期間中に正常な使用状態のもとで、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし下記事項に該当する場合は無償修理の対象から除外いたします。

記

- 取扱説明書と異なる不適当な取扱いはまたは使用による故障
- 当社サービスマン以外による不当な修理や改造に起因する故障
- 火災水害などの天災を始め故障の原因が本計器以外の事由による故障
- 電池の消耗による不動作
- お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
- 本保証書は日本国において有効です。

This warranty is valid only within Japan.

年 月 日	修理内容をご記入ください。

※無償の認定は当社において行わせていただきます。

sanwa®

三和電気計器株式会社

本社=東京都千代田区外神田2-4-4・電波ビル

郵便番号=101-0021・電話=東京(03)3253-4871(代)

大阪営業所=大阪市浪速区恵美須西2-7-2

郵便番号=556-0003・電話=大阪(06)6631-7361(代)

SANWA ELECTRIC INSTRUMENT CO.,LTD.

Dempa Bldg., 4-4 Sotokanda2-Chome Chiyoda-Ku, Tokyo, Japan



大豆インキを使用しています。

This manual emplys soy ink.

04-1307 2040 6010